


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意識や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 つくばみらい市立小張小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>1 パラリンピック・ゴールボール選手から学ぶ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童 68名 <p>2 特別支援学校との交流学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年, 第4学年 23名 伊奈特別支援学校 第4学年 17名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (総合的な学習の時間等) ② 行事名 (パラリンピック・ゴールボール選手から学ぶ会) (特別支援学校との交流学習) ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック種目の選手を招き、選手の講演を聞いたり、競技を体験したりする活動を通して、選手の生活や努力を理解し、パラリンピック大会や競技への関心を高める。 ・特別支援学校の児童と共に活動することを通して、共生社会への意識を高める。
5 取組内容	<p>(1) パラリンピック・ゴールボール選手から学ぶ会 (11月20日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事前学習 <ul style="list-style-type: none"> ・学級で担任からパラリンピックの種目について紹介した。 ②当日の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールボール日本代表強化指定選手である山口凌河選手の講話 ・ゴールボールの動画視聴 ・アイマスク体験 ・ゴールボール体験 ・山口選手との会食 (第5学年)
	



③ 事後指導

- ・各学級において、感想発表を行った。
- ・パラリンピック競技種目について調べ、新聞にまとめた。

(2) 特別支援学校との交流学习（12月6日）

①事前学習

- ・学級で担任から特別支援学校の生活等について紹介した。
- ・楽しい思い出になるよう式次第やメッセージカードを作成した。

②当日の内容

- ・仲間あつめゲーム等
- ・ポッチャ体験
- ・小張小3、4年生による演奏発表



③事後指導

- ・担任から同じ仲間として生活していくことの大切さを確認した。
- ・交流学习の感想をまとめ、掲示した。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・山口選手の人柄もあり、児童達はゴールボールの選手や競技、パラリンピック大会に大変興味をもつことができた。 ・同じ年代の特別支援学校の児童と共に活動することで、仲間意識が生まれ、共生社会への意識が高まった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が体験したことのない競技を取り上げることで、様々なスポーツや競技に関心をもてるようにした。 ・ゴールボールを体験するにあたり、ゴールボールを購入した。ゴールボールを体育等でも実施することで、ゴールボール体験を一時的なものとしてせず、継続して親しめるようにした。 ・児童が活動する内容を中心としたため、意欲的に取り組むことができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・選手等、大会に直接関係する人を招いて事業を行う場合、オリンピック・パラリンピック年度であることから、スケジュール調整が重要になる。 ・講師料の支払い等、市町村教育委員会との綿密なやりとりが必要になる。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・体育や総合的な学習の時間等で、ゴールボールを行う等、継続してゴールボールに接していく。 ・他のパラリンピック種目について調べる機会を設け、東京2020オリンピック・パラリンピック大会への関心を高めていく。 ・特別支援学校との交流学习を継続して行い、共生社会への意識をさらに高めていく。